

平成26年7月8日

各 位

札幌中央信用組合

札幌中央信用組合と日本政策金融公庫（札幌支店）は、地域経済の活性化に一層貢献するため、創業支援、経営改善、再生支援の分野を中心に、連携を強化していくことに合意し、本日連携にかかる覚書を締結しました。

札幌中央信用組合と日本政策金融公庫 札幌支店は、従来から個別の取引先企業を通じた業務連携を進めてまいりましたが、今後も地域経済の活性化により一層貢献していく観点から、創業支援、経営改善、再生支援の分野を中心に連携を強化することに合意しました。

なお、日本公庫が創業支援、経営改善、再生支援の分野で、信用組合と重点的に連携を強化するのは、札幌市で初めての取組みとなります。

本連携に関しては、札幌中央信用組合と日本政策金融公庫に「サポートホットライン」を設置して取組みを進めてまいります。

具体的な取組みの内容は以下のとおりです。

① 創業支援

創業期の中小企業の発展、成長に向け、札幌中央信用組合と日本政策金融公庫が連携して、創業計画策定のサポート、協調融資、中小企業向けセミナーの共同開催など経営のサポートを行い、創業期を中心とした中小企業を支援します。

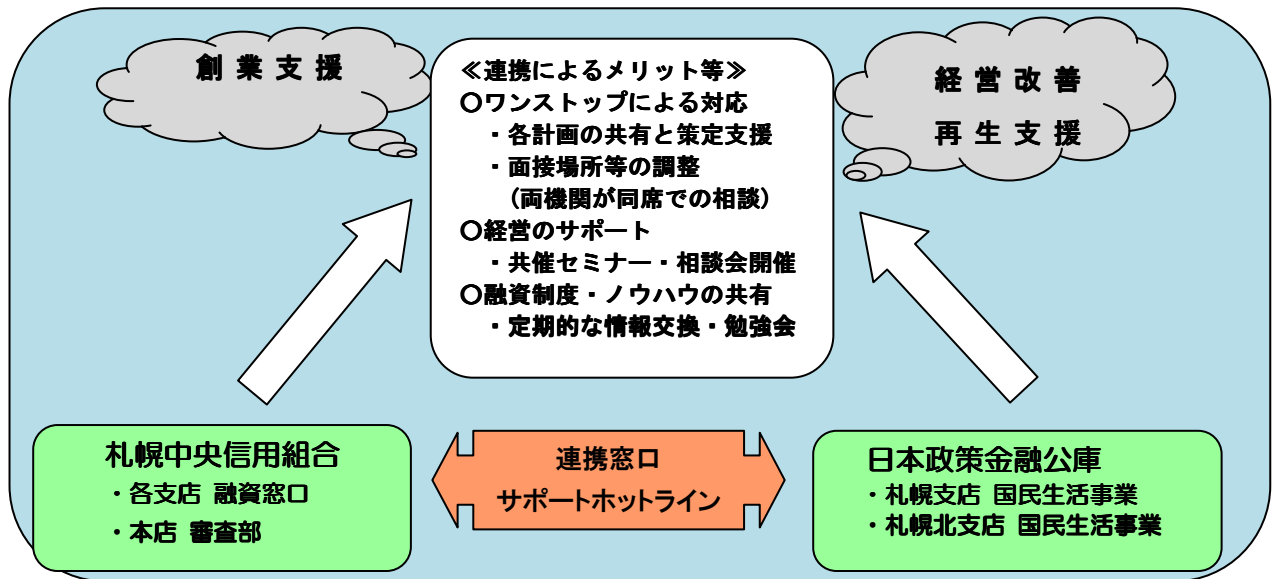
② 経営改善支援

中小企業経営力強化支援法に基づき「経営革新等支援機関」に認定されている札幌中央信用組合が、中小企業に対し経営改善の事業計画策定の助言や資金提供を行い、日本政策金融公庫は、セーフティネット貸付による資金提供（協調融資を含む）等により、企業の資金繰りの安定や財務内容の向上を支援します。

③ 再生支援

再生支援協議会等の関与のもとで、再建計画が策定された中小企業に対して、札幌中央信用組合が計画実行のための助言を行い、日本政策金融公庫は、企業再生貸付、資本金ローン等による資金提供（協調融資を含む）等により、企業の再生を支援します。

(連携強化のスキーム図)



以上